

ためきタンゴカルテット

昨年好評を博した若手アルゼンチンタンゴ弾きたちによる
ためきタンゴカルテットが再び松本へ！

新旧の魅力的な古典、オリジナル作品のプログラムで、
たっぷりとエネルギー溢れるタンゴをお届けいたします。



2025年
9月15日(月・祝)

松本市音楽文化ホール
小ホール

～出演～

清川宏樹(バンドネオン)

廣津留すみれ(ヴァイオリン)

小野としたか(コントラバス)

小林萌里(ピアノ)

松本市音楽文化ホール 小ホール (長野県松本市島内4351)

時間: 13:30開場、14:00開演

入場料: 全席自由

一般 前売4000円・当日4500円

学生 前売2000円・当日2500円 (小学生以下無料)

～ご予約&お問い合わせ～

①Pass Marketよりお申し込みの方は、
右のQRコードよりお申し込みください。

②窓口販売: 松本市音楽文化ホール
Tel: 0263-47-2004





演奏者プロフィール

清川 宏樹 (Bandoneon)

現在大阪を拠点に活動するバンドネオン奏者。大学在籍時より、日本唯一のタンゴ演奏サークル「オルケスタ・デ・タンゴ・ワセダ」に所属し、バンドネオンの演奏活動始める。その後「Nueva Escuela」「Cielo Adentro」「Octeto Loco Loca」などで演奏経験を積む。2013年より活動拠点を大阪に移し、現在「Peronolose」「KANSAI Tango Orquesta」といったタンゴバンドのほか、「JARABNGO」ではジャズ、アラブ音楽とのミクスチャーを演奏するなど、多岐にわたる音楽活動を続ける。2022年には「KANSAI Tango Orquesta」を率いてSakura Tango Festivalのショー『TANGO: 帰ろう -Vuelvo a Vos-』の演奏を担当。2023年には『オルランド・トリポディへのオマージュ』公演を全国4ヶ所で開催、好評を博した。

廣津留すみれ (Violin)

大分市出身。12歳で九州交響楽団と共演、高校在学中にNY・カーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学（学士）・ジュリアード音楽院（修士）を卒業・修了。大学在学中に世界的チェリスト、ヨーヨー・マ氏との度々の共演を果たしたのを皮切りに、米国にて演奏活動を拡大。タンゴ音楽への造詣も深く、2018年に元ブグリエーセ楽団のバンドネオン奏者ヘクトル・デル・クルトと初共演、同氏が主宰するストウ・タンゴ音楽祭に招待される。NYではPedro Giraud Tango Quartetのメンバーとして活動。2023年にはオラシオ・ロモ氏らTípica Messiezメンバーとブエノス・アイレスで録音したタンゴアルバムPsicoporteñoがリリース。現在、国際教養大学特任准教授、成蹊大学客員准教授。テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』金曜レギュラー。著書に『超・独学術』など多数。

小野としか (Contrabass)

1990年 福岡市出身。幼少よりピアノ、13歳よりコントラバスを始める。福岡第一高等学校音楽科卒業。2013年東京藝術大学コントラバス科卒業。吉浦勝喜、永島義男、西山真二、木村索、Neil Swainson各氏に師事。2013年帰郷。現在、クラシック、ジャズ、タンゴほか多方面に活動中。吹奏楽部の指導にも力を入れている。2023年、2024年、福岡で毎年開催されているSakura Tango Festivalに参加。

小林 萌里 (Piano)

東京音楽大学卒業。これまでにドイツ、スイス、アメリカ、アルゼンチンにて現地の演奏家達と共演。第7回ジュラ・キシユ国際コンクール一般部門審査員賞など複数のコンクールに入賞・入選。Cosquin en Japon 2023の日本代表審査会で1位となり、2024年アルゼンチンのコルドバ州コスキン市で開催のCosquin 2024 Festival Nacional de Folkloreの日本代表に選出され数万人の前で演奏。同じくブエノスアイレス州ラ・プラタ市で開催されたメガ盆踊りにおいても数万人の前で演奏。コロナ禍2020年から地元茨城県笠間市の文化施設でのコンサートシリーズを立ち上げ現在も継続中。近年では陶芸家との異色の共演、琵琶とピアノのデュオで各地の民話・伝説を新しい形で公演、植物の空間装飾と音楽のコラボ、ミシンで葉っぱを縫うアーティストとの北欧音楽のコラボなど様々な形での公演を開催している。